

成果報告書

湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」

看護医療学部（助教）久保美紀

1. 集会名称

心不全患者会（ハート to Heart）開設のための学習会

2. 概要

1) 背景・目的

心不全患者は、再入院率が高いことが問題とされているが、再入院理由の殆どは患者の自己管理に起因することが明らかになっている。しかし、療養を自己管理するために必要な病気・療養法の知識や対処行動を習得するためには、多くの時間を必要とする。そこで本学習会は、患者が主体的に知識や対処行動を習得し、心不全患者の療養の質を向上することを目指した「心不全患者会」の開設に向けた準備のための学習会を（財）榊原記念病院と慶應義塾大学（看護医療学部）との共催で開催することを目的とする。

2) 方法

2011年7月23日（土）11:00～ 医師（3名）と筆者、合計4名が講師となり講演（学習会）を行う。その後、患者、医師、看護師（筆者を含む）が昼食をとりながら気軽に意見交換を行う。

3. 参加者

参加者：30名

講師：吉川勉（医師、元慶應義塾大学）高見澤格（医師）、諸富伸夫（医師）、久保美紀（慶應義塾大学看護医療学部）

スタッフ：新村郁子（ソーシャルワーカー）ほか *参加者一覧添付

4. 進行

10:30～受付開始

11:00～11:05 病院長挨拶

11:05～11:15 高見澤格（医師）：はじめに

11:15～11:45 吉川勉（医師）：心不全について

11:45～12:05 久保美紀（看護師、慶應義塾大学）：心不全と上手につきあう日常生活

12:05～12:30 諸富伸夫（医師）：心疾患と運動について

12:30～ 昼食交流会 *昼食（塩分、カロリー管理）は、病院が準備

5. 成果

本学習会の参加応募者は30名であったが、そのうち2人が欠席したため、出席者は28名となった。アンケート回答者は27名（1人昼食交流会には出席せず）であった。

1) 参加者背景（患者本人との続柄）

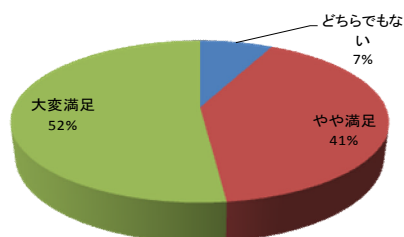
	人数	%
家族	4	14.8
本人	23	85.2
合計	27	100.0

2) 参加者属性

	性別		合計	
	男	女		
年齢 3区分	-64	6 42.9%	2 16.7%	8 30.8%
	65-74	3 21.4%	4 33.3%	7 26.9%
	75-	5 35.7%	6 50.0%	11 42.3%
合計	14 100.0%	12 100.0%	26 100.0%	

* 年齢未記入者 1 人

3) 学習会参加の満足度



4) 学習会および昼食交流会風景



6. 今後の課題

心不全は、その病態の重篤度から患者会の開設が難しいと考えられており、開設の前例がない。本会は、その先駆けとなる「心不全患者会」の開設に向けた準備のための学習会を開催した。開催にあたっては、患者の安全を第一に考え、医療者（医師、看護師）の全面的なサポートを得て、短時間での学習会と交流会を行うこととなった。結果、学習会開催中に、症状が悪化した人は居なかった。このことは何より重要なことである。参加者からの感想については、参加者の9割以上が今回参加して大変満足～やや満足（5段階評価）と回答したことから、一応のニーズを満たすことが出来たと考えている。

しかし前述したが、療養の自己管理に必要な知識や対処行動の習得には長い時間を必要とする。そのため、今回の参加者の反応や、得られたデータを基礎資料にしながら、心不全患者会の開設に向けた準備を進めていくことが課題である。